

## 第52回 粉体工学に関する講演討論会の開催と KONA 賞の贈呈

### The 52<sup>nd</sup> Symposium on Powder Technology Held in Tokyo and KONA Award Presentation

去る9月3日(月)に東京ガーデンパレスにて、ホソカワ粉体工学振興財団主催の第52回 粉体工学に関する講演討論会が開催されました。今回のテーマは、「粉体材料の合成および利用を支える粉体技術」となっており、KONA 賞受賞講演を含み、さまざまな材料の粉体プロセスに関わる粒子製作・加工技術の最前線について、6氏の方からご講演がありました。



開会挨拶

最初に細川悦男理事長より、この講演討論会が、1968年に枚方本社の敷地に建てられた粉体工学研究所の落成記念事業をきっかけとして始まり、今年で丁度50年目を迎えたことが伝えられました。さらに、この講演討論会の開催を始め、KONA 賞の授賞や研究助成等の助成事業を中心にして、英文学術誌 KONA 誌の出版など、当財団の国内外の粉体工学分野における活動について紹介されました。

その後、KONA 賞の贈呈式が行われ、奥山喜久夫常務理事より、昨年度の KONA 賞の受賞者であるスイス連邦工科大学 (ETH) の Sotiris E. Pratsinis



KONA 賞贈呈式にて  
(細川理事長とプラツィニス教授)

(ソティリス・イー・プラツィニス) 教授が紹介され、理事長より KONA 賞の盾が手渡されました。KONA 賞は1990年から、粉体工学の分野で大きな業績を上げてこられた研究者に副賞100万円と共に原則毎年贈呈されてきています。当初、本賞はホソカワミクロンから授与されていましたが、1991年末に設立された当財団に、その翌年から引き継がれています。それ以来、受賞者は国内の研究者に限定されていましたが、昨年度に KONA 賞の選考方法が改訂され、広く世界から推薦者を募集し、欧米、アジアから10名の KONA 賞審査委員を選任して審査が行われることになりました。その結果昨年度は、火炎法によるナノ粒子の合成と応用について長年にわたり数多くの質の高い研究成果を報告されてきた Pratsinis 教授が、30人目の「KONA 賞」受賞者として、財団設立以来初めての海外の研究者として本賞を受賞されることになりました。

KONA 賞受賞講演では、火炎法による各種のナノ材料の合成から応用までを、カーボンブラック粒子



講演討論会風景



懇親会風景

から呼気センサーまで幅広く、かつ基礎から実用に繋がる量産性も考慮しながら分かりやすく解説されました。

その後5件の講演がありました。その講師、演題については下記の次第を参照して下さい。これらのKONA賞受賞講演を含む6件の講演内容については、本誌の特集に掲載されています。

最後に、本会の企画を担当された粉体技術談話会

の会長である東北大学名誉教授齋藤文良先生による閉会挨拶で講演討論会は締めくくられました。

講演討論会の後、懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、各講師と来場者との間で有意義な交流が行われました。来場者数は160名を超え、会場は満杯状態となりました。次回(第53回)は、大阪での開催を予定しております。

次 第

1. 開会挨拶 ホソカワ粉体工学振興財団 理事長,  
ホソカワミクロン株式会社 代表取締役会長兼社長 細川 悦男
2. 2017 KONA 賞贈呈式  
【セッション1】(司会) 大阪大学 教授 内藤 牧男
3. 講演1 (KONA 賞受賞記念講演) “Material Synthesis by Aerosol Particle Technology: from Carbon Black to Breath Sensors”  
Prof. Sotiris E. Pratsinis, Institute of Process Engineering, Swiss Federal Institute of Technology Zurich (ETH Zurich)
4. 講演2 「ナノカーボンを用いた機能性複合材料と新しい展開」  
東北大学大学院工学研究科 教授 川崎 亮  
【セッション2】(司会) (国) 物質・材料研究機構 特命研究員 目 義雄
5. 講演3 「サイアロン蛍光体を用いた白色LEDの実用化と最新技術」  
(国) 物質・材料研究機構 サイアロングループ 高橋 向星
6. 講演4 「車載用電池電極材料の成膜技術の革新—ダイラタンシーの発現メカニズムと抑制方法—」  
(株) 豊田中央研究所 リサーチアドバイザー スラリー特任研究室 室長 中村 浩  
【セッション3】(司会) 電力中央研究所 研究アドバイザー 牧野 尚夫
7. 講演5 「特異な増粘、乳化、分散機構を応用したセルロースナノファイバーの用途開発」  
第一工業製薬 (株) 研究開発本部 ライフサイエンス開発部 レオクリスタ開発グループ 専門課長 後居 洋介
8. 講演6 「最新の粉体塗装技術の動向」  
ホソカワミクロンワグナー (株) 代表取締役社長 木村 尚司
9. 閉会挨拶 粉体技術談話会 会長, 東北大学 名誉教授 齋藤 文良
10. 懇親会